

# Workplace Designer



バージョン 2.6

Windows、Linux、AIX、Solaris、iSeries 版



インストール/アップグレードガイド

**お願い**

本書および本書で紹介する製品をご使用になる前に、13 ページの『特記事項』に記載されている情報をお読みください。

本書は、IBM Workplace Designer 2.6 (製品番号 L-FSMH-6H6PUN) および新しい版で明記されていない限り、以降のすべてのリリースおよびモディフィケーションに適用されます。

本マニュアルに関するご意見やご感想は、次の URL からお送りください。今後の参考にさせていただきます。

<http://www.ibm.com/jp/manuals/main/mail.html>

なお、日本 IBM 発行のマニュアルはインターネット経由でもご購入いただけます。詳しくは

<http://www.ibm.com/jp/manuals/> の「ご注文について」をご覧ください。

(URL は、変更になる場合があります)

お客様の環境によっては、資料中の円記号がバックスラッシュと表示されたり、バックスラッシュが円記号と表示されたりする場合があります。

原 典： G210-2219-00  
Workplace Designer  
Version 2.6  
for Windows, Linux, AIX, Solaris, iSeries  
Installation and Upgrade Guide

発 行： 日本アイ・ピー・エム株式会社

担 当： ナショナル・ランゲージ・サポート

第1刷 2006.4

この文書では、平成明朝体™W3、平成明朝体™W7、平成明朝体™W9、平成角ゴシック体™W3、平成角ゴシック体™W5、および平成角ゴシック体™W7を使用しています。この(書体\*)は、(財)日本規格協会と使用契約を締結し使用しているものです。フォントとして無断複製することは禁止されています。

注\* 平成明朝体™W3、平成明朝体™W7、平成明朝体™W9、平成角ゴシック体™W3、平成角ゴシック体™W5、平成角ゴシック体™W7

© Copyright International Business Machines Corporation 2006. All rights reserved.

© Copyright IBM Japan 2006

---

## 目次

<b>IBM Workplace Designer 2.6 インストール/アップグレード</b> . . . . .	<b>1</b>	IBM Workplace Designer ツールをインストールする	8
システム要件 . . . . .	1	IBM Workplace Designer をアンインストールする . . . . .	9
IBM Workplace Designer を Workplace Collaboration Services 2.6 にインストールする . . . . .	2	IBM Workplace Designer ランタイムをアンインストールする . . . . .	9
IBM Workplace Designer を Workplace Services Express 2.6 にインストールする . . . . .	4	IBM Workplace Designer の EAR ファイルをアンインストールする . . . . .	10
IBM Workplace Designer を Workplace Services Express 2.5 および 2.5.1 にインストールする . . . . .	4	IBM Workplace Designer ツールをアンインストールする . . . . .	11
IBM Workplace Designer ランタイムをインストールする . . . . .	4	IBM Workplace Designer 2.6 にアップグレードする	11
IBM Workplace Designer の EAR ファイルをインストールする . . . . .	6	<b>付録. 特記事項</b> . . . . .	<b>13</b>
		商標 . . . . .	14



---

## IBM Workplace Designer 2.6 インストール/アップグレード

IBM® Workplace™ Designer 2.6 は、IBM Workplace アプリケーションに追加して Web ブラウザで使用できるコンポーネントを作成するための開発ツールです。Workplace Designer には、コンポーネントを作成するためのツールと、コンポーネントをサーバーにアプリケーションとして配置できるようにするランタイムが用意されています。Workplace Designer は、以下のいずれかの環境でインストールできます。

- IBM Workplace Collaboration Services 2.6 サーバー環境
- IBM Workplace Services Express 2.5、2.5.1、または 2.6 サーバー環境
- スタンドアロンツール環境 (サーバーをインストールしたりサーバーに接続したりせずにコンポーネントを作成できます)。

Workplace Designer 2.5 から Workplace Designer 2.6 にアップグレードすることもできます。

Designer は、Workplace Designer の CD または Web からインストールできます。Web からダウンロードしてインストールする場合は、IBM ソフトウェアオンラインカタログ ([http://www.ibm.com/software/info/ecatalog/en\\_US/index.html](http://www.ibm.com/software/info/ecatalog/en_US/index.html)) または IBM パスポート・アドバンテージの Web サイト (<http://www.lotus.com/services/cwepassport.nsf/wdocs/passporthome>) にアクセスしてください。

---

### システム要件

#### サーバーコンピュータの要件

- **IBM Workplace Collaboration Services 2.6:** Workplace Designer ランタイムはサーバーの一部としてインストールされ、サーバーをサポートするすべてのオペレーティングシステムでサポートされます。サーバーをサポートするオペレーティングシステムについては、<http://www.ibm.com/developerworks/workplace/documentation> にある IBM Workplace Collaboration Services 2.6 インフォメーションセンターを参照してください。
- **IBM Workplace Services Express 2.6:** Workplace Designer ランタイムはサーバーの一部としてインストールされ、サーバーをサポートするすべてのオペレーティングシステムでサポートされます。サーバーをサポートするオペレーティングシステムについては、<http://www.lotus.com/products/product5.nsf/wdocs/productdoc#info> にある IBM Workplace Services Express 2.6 インフォメーションセンターを参照してください。
- **IBM Workplace Services Express 2.5 および 2.5.1:** サーバーに Workplace Designer Runtime をインストールする必要があります。ランタイムはサーバーをサポートするすべてのオペレーティングシステムでサポートされます。サポートされているオペレーティングシステムについては、<http://www.lotus.com/products/product5.nsf/wdocs/productdoc#info> にある IBM

Workplace Services Express 2.5 インフォメーションセンターを参照してください。ランタイムには 90 MB のディスクスペースが必要です。サーバーの要求を超える速度やメモリは必要ありません。

## クライアントコンピュータの要件

- **IBM Workplace Collaboration Services 2.6:** Workplace Designer Tool はサーバーの一部としてインストールされ、ユーザーが IBM Workplace Managed Client™ を提供すると、クライアントコンピュータに提供されます。このツールは、すべての Workplace Managed Client がサポートされるオペレーティングシステムでサポートされています。Workplace Managed Client がサポートされるオペレーティングシステムについては、<http://www.ibm.com/developerworks/workplace/documentation> にある IBM Workplace Collaboration Services 2.6 インフォメーションセンターを参照してください。
- **IBM Workplace Services Express 2.5, 2.5.1, 2.6 またはスタンドアロンインストール:** クライアントコンピュータには Workplace Designer Tool を手動でインストールする必要があります。このツールは、以下のオペレーティングシステムでサポートされています。
  - Microsoft® Windows® 2000 Professional with Service Pack 2
  - Microsoft Windows XP with Service Pack 1
  - Red Hat Enterprise Linux® WS 3.0 アップデート 3; カーネル: 2.4.2.21-27.0.2"; コンパイラ: gcc 3.2, glibc 2.3.2; デスクトップ環境: GNOME

またクライアントコンピュータには、最小 500 MB のディスクスペース、512 MB RAM、および Intel® Pentium® 3, 800 MHz プロセッサが必要です。

---

## IBM Workplace Designer を Workplace Collaboration Services 2.6 にインストールする

IBM Workplace Designer 2.6 ランタイムは IBM Workplace Collaboration Services 2.6 サーバーの一部としてインストールされます。サーバー管理者がいくつかのステップを実行して IBM Workplace Designer をサーバーで有効にすると、IBM Workplace Managed Client が提供されていれば、ユーザーは Workplace Designer ツールを使用できるようになります。

また、Designer ツールを Web または CD からスタンドアロンでインストールし、コンポーネントを作成し、後で Workplace Collaboration Services 2.6 サーバーに接続してそのコンポーネントを展開することもできます。Designer ツールをスタンドアロンでインストールする方法については、8 ページの『IBM Workplace Designer ツールをインストールする』のトピックを参照してください。後で Workplace Collaboration Services 2.6 サーバーに接続してコンポーネントを配置する方法については、IBM Workplace Designer 2.6 のヘルプを参照してください。

Workplace Collaboration Services サーバーをインストールする方法、プロビジョニングサーバーをインストールする方法、ユーザーポリシーを設定する方法、および Workplace Managed Client を提供する方法については、<http://www.ibm.com/developerworks/workplace/documentation> にある IBM Workplace Collaboration Services 2.6 インフォメーションセンターを参照してください。

Workplace Designer を Workplace Collaboration Services 2.6 サーバーで有効にするには、以下のステップを実行します。

1. Workplace Collaboration Services 2.6 サーバーをインストールします。インストールの途中で、**[IBM Workplace Designer]** ボックスにチェックマークを付けて、Workplace Designer の有効なライセンスを所有していることを確認します。
2. Workplace Collaboration Services サーバーにプロビジョニングサーバーをインストールします。
3. Cloudscape™ を使用している場合は、以下のいずれかのアクションを実行します。
  - Microsoft Windows の場合、Workplace Collaboration Services サーバーにある WebSphere/PortalServer/rootscripts/subtasks/startNetworkServer.bat ファイルを開いて、-Xms512M -Xmx1024M を含む行を見つけ、その行を次のように変更します。  
START "Cloudscape" /min %JAVA\_HOME%\bin\java -cp %CNS\_CLASSPATH%  
-Xms512M -Xmx1024M -Ddb2j.drda.host=0.0.0.0  
-Ddb2j.drda.sendLongBitVaryingAsBlob=true  
-Ddb2j.drda.sendLongVarcharAsClob=true com.ibm.db2j.drda.DB2jServer  
start -ld "
  - Linux の場合、Workplace Collaboration Services サーバーにある WebSphere/PortalServer/rootscripts/subtasks/startNetworkServer.sh ファイルを開いて、-Xms512M -Xmx1024M を含む行を見つけ、次の行を変更します。  
"\$JAVA\_HOME/bin/java -Xms512M -Xmx1024M -Ddb2j.drda.host=0.0.0.0  
-Ddb2j.drda.sendLongBitVaryingAsBlob=true  
-Ddb2j.drda.sendLongVarcharAsClob=true -cp \$CNS\_CLASSPATH  
com.ibm.db2j.drda.DB2jServer start -ld  
>/opt/WebSphere/PortalServer/log/NetworkServer.log &"
4. 以下のステップを実行して Workplace Designer を有効にします。
  - a. [http://yourWASServer:admin\\_port/admin](http://yourWASServer:admin_port/admin) で IBM WebSphere® Application Server 管理コンソールを開きます。yourWASServer は、WebSphere Application Server の完全修飾の DNS 名です。admin\_port は、WebSphere 管理コンソールに割り当てられたポートです。たとえば、<http://acme.server.com:9091/admin> のようになります。管理者でログインしてください。
  - b. 左にあるナビゲーションメニューで **[IBM Workplace ソフトウェア]** → **[ユーザー]** → **[ユーザーポリシーの管理]** をクリックします。
  - c. **[デフォルトのユーザーポリシー]** (または特定のユーザーポリシー名) リンクをクリックします。
  - d. **[リッチクライアント]** を選択して、IBM Workplace Managed Client を有効にします。
  - e. スクロールダウンして **[IBM Workplace Designer を許可]** にチェックマークを付けます。
  - f. ポリシーの下にある **[OK]** をクリックして、設定を保存し、WebSphere Application Server 管理コンソールからログアウトします。

#### 関連タスク

8 ページの『IBM Workplace Designer ツールをインストールする』

11 ページの『IBM Workplace Designer 2.6 にアップグレードする』

---

## IBM Workplace Designer を Workplace Services Express 2.6 にインストールする

以下のステップを実行して、IBM Workplace Designer を IBM Workplace Services Express 2.6 サーバーにインストールする。

1. Workplace Services Express 2.6 サーバーをインストールする。詳しくは、<http://www.lotus.com/products/product5.nsf/wdocs/productdoc#info> にある IBM Workplace Services Express 2.6 インフォメーションセンターを参照してください。
2. ツールをクライアント・コンピュータにインストールする。

---

## IBM Workplace Designer を Workplace Services Express 2.5 および 2.5.1 にインストールする

以下のステップを実行して、IBM Workplace Designer を IBM Workplace Services Express 2.5 または 2.5.1 サーバーにインストールします。

1. Workplace Services Express 2.5 または 2.5.1 サーバーをインストールします。IBM Workplace Designer の Web サイトおよび CD の両方で、Workplace Services Express 2.5.1 サーバー (試用版) を利用できます。両方のバージョンの Workplace Services Express に該当するインストール資料については、Web サイト <http://www.lotus.com/products/product5.nsf/wdocs/productdoc#info> にある、2.5.x バージョンの IBM Workplace Services Express インフォメーションセンターを参照してください。
2. Designer ランタイムをサーバーコンピュータにインストールします。
3. Designer ツールをクライアント・コンピュータにインストールします。

### IBM Workplace Designer ランタイムをインストールする

以下のステップでは、IBM Workplace Services Express 2.5 または 2.5.1 サーバーがインストールされていると仮定します。

IBM Workplace Designer ランタイムは、Web または CD からインストールできます。Web からインストールする場合、以下のステップでは、C87UAML.exe (Microsoft Windows プラットフォームの場合) または C87U5ML.tar (Linux, AIX<sup>®</sup>, Solaris, または IBM i5/OS<sup>®</sup> のプラットフォームの場合) が一時ディレクトリにダウンロードされていると仮定します。

ランタイムをインストールするには、以下のステップを実行します。

1. IBM Workplace アプリケーションサーバーが実行されるサーバー (データベースサーバーや IBM WebSphere Portal サーバーなど) をすべて停止します。詳しくは、<http://www.lotus.com/products/product5.nsf/wdocs/productdoc#info> にある IBM Workplace Services Express 2.5 インフォメーションセンターを参照してください。
2. 次のアクションの 1 つを実行します。
  - Web からダウンロードしたファイルからインストールする場合は、インストールディレクトリ (例: C:\WD26) を作成し、そのディレクトリに

C87UAML.exe または C87U5ML.tar を抽出します。Linux、AIX、および Solaris のプラットフォームの場合、コマンドラインで tar xvf C87U5ML.tar と入力して TAR ファイルを抽出します。i5/OS プラットフォームの場合、tar ファイルを IFS にコピーして、コマンドラインで QSH と入力し、tar ファイルがあるディレクトリに移動 (cd コマンド) して、コマンド pax -rv -C 819 -f C87U5ML.tar を実行します。

- CD からインストールする場合は、**IBM Workplace Designer ランタイム v2.6 Multiplatform Multilingual CD** をコンピュータに挿入します。
3. CD、または EXE や TAR ファイルを抽出したディレクトリの /DesignerRuntime/Server ディレクトリにナビゲートします。以下のいずれかのアクションを実行して、インストールプログラムを開始します。
    - Microsoft Windows の場合は、DesignerServerSetupWin32.exe を実行します。
    - Linux の場合は、DesignerServerSetupLinux.bin を実行します。
    - AIX の場合は、DesignerServerSetupAIX.bin を実行します。
    - Solaris の場合は、DesignerServerSetupSolarisSparc.bin を実行します。
    - i5/OS の場合は、リモートの Windows マシンから install400.bat を実行します。次に、ダイアログボックスにコンピュータのホスト名、管理者名、およびパスワードを入力します。
  4. **[このウィザードで使用する言語の選択]** ダイアログボックスで言語を選択し、**[OK]** をクリックします。
  5. **[IBM Workplace Designer 2.6 ランタイムへようこそ]** ダイアログボックスで **[次へ]** をクリックします。
  6. 使用許諾契約書ダイアログボックスで **[使用許諾契約書に記載された条件に同意します]** にチェックをつけた後、**[次へ]** をクリックします。
  7. IBM Workplace アプリケーションサーバーの場所が正しいことを確認し、必要に応じてセル名とノード名の値を入力または更新して、管理者のユーザー名とパスワードを入力し (i5/OS の場合を除く)、**[次へ]** をクリックします。
  8. Workplace Designer ランタイムのディレクトリの場所については、そのディレクトリの場所が正しいことを確認するか、または別のディレクトリを参照して **[次へ]** をクリックします。

注: アップグレードするときは、ご使用の 2.5 のコンポーネントを失わずに Designer 2.5 ランタイムを上書きインストールできます。
  9. **[要約]** ダイアログボックスで情報を確認した後、**[次へ]** をクリックします。

注: ファイルを置換するかどうかを尋ねられたら、**[すべてはい]** をクリックします。
  10. **[成功]** ダイアログボックスで **[完了]** をクリックします。
  11. CD、または EXE や TAR ファイルを抽出したディレクトリの /DesignerRuntime/WSE\_iFix ディレクトリにナビゲートし、iFix ファイル LOD6N7T.jar のインストールについて readme.txt ファイルの指示に従います。
  12. IBM Workplace アプリケーションサーバーが実行されるサーバー (データベースサーバーや IBM WebSphere Portal サーバーなど) をすべて開始します。詳しく

くは、<http://www.lotus.com/products/product5.nsf/wdocs/productdoc#info> にある IBM Workplace Services Express 2.5 インフォメーションセンターを参照してください。

13. i5/OS を使用している場合、IBM Workplace Designer EAR ファイルをインストールします。詳しくは、トピック『IBM Workplace Designer の EAR ファイルをインストールする』を参照してください。
14. Windows、Linux、AIX、または Solaris を使用している場合は、Designer ランタイムがインストールされていて以下のステップで開始されていることを確認します。
  - a. [http://yourWASServer:admin\\_port/admin](http://yourWASServer:admin_port/admin) で IBM WebSphere Application Server 管理コンソールを開きます。 *yourWASServer* は、WebSphere Application Server の完全修飾の DNS 名です。 *admin\_port* は、WebSphere 管理コンソールに割り当てられたポートです。たとえば、<http://acme.server.com:9091/admin> のようになります。管理者でログインしてください。
  - b. サーバーで [アプリケーション] → [エンタープライズ・アプリケーション] をクリックします。
  - c. アプリケーションのリストに [LWP Designer ランタイム] が表示されていて、その横に緑色の矢印が付いているかどうかを確認します。緑色の矢印が付いていない場合は、[LWP Designer ランタイム] の横にあるボックスにチェックマークを付けて、ページの最上部にある [開始] をクリックし、設定を保存して WebSphere Application Server 管理コンソールからログアウトします。

**ヒント:** インストールのエラーのトラブルシューティングを行うときは、以下のいずれかのファイルを参照してください。

- Windows、Linux、AIX、および Sun Solaris プラットフォームでは、`installlog5.txt` は Workplace Designer のインストールディレクトリにあります。
- i5/OS プラットフォームの場合は、`workplace_server_root/log` ディレクトリにある `lwpinstalllog.txt` (`workplace_server_root` は Workplace Server のディレクトリ)

#### 関連タスク

『IBM Workplace Designer の EAR ファイルをインストールする』

8 ページの『IBM Workplace Designer ツールをインストールする』

9 ページの『IBM Workplace Designer ランタイムをアンインストールする』

## IBM Workplace Designer の EAR ファイルをインストールする

IBM Workplace Services Express 2.5 または 2.5.1 サーバーが IBM i5/OS プラットフォームにインストールされている場合にのみ、以下のステップを実行します。

1. [http://yourWASServer:admin\\_port/admin](http://yourWASServer:admin_port/admin) で IBM WebSphere Application Server 管理コンソールを開きます。 *yourWASServer* は、WebSphere Application Server の完全修飾の DNS 名です。 *admin\_port* は、WebSphere 管理コンソールに割り当てられたポートです。たとえば、<http://acme.server.com:9091/admin> のようになります。管理者でログインしてください。

2. 左側のパネルの [アプリケーション] → [新規アプリケーションのインストール] をクリックします。
3. [アプリケーション・インストールの準備] 画面の [パス] セクションで `workplace_designer_root/lib` ディレクトリを開きます。 `workplace_designer_root` は Workplace Designer のインストールディレクトリです。  
[`designer.runtime.ear`] を選択して [次へ] をクリックします。
4. [デフォルト・バインディングの生成] 画面で [次へ] をクリックします。
5. [ステップ 1: インストールを行うためのオプションの提供] 画面で、[デプロイ EJB] がチェックされていないことを確認して [次へ] をクリックします。
6. [ステップ 2: Bean の JNDI 名を提供] 画面で、[次へ] をクリックします。
7. [ステップ 3: Web モジュールの仮想ホストをマップ] 画面で [Web モジュール] にチェックを付けた後 [次へ] をクリックします。
8. [ステップ 4: サーバーにモジュールをマップ] 画面で [クラスタおよびサーバー] リストから [WebSphere\_Portal サーバー] を選択し、[モジュール] チェックボックスにチェックマークを付けて [適用] をクリックします。
9. [モジュール] チェックボックスにチェックを付け、再度すべてのモジュールを選択した後、[次へ] をクリックします。
10. [ステップ 5: セキュリティー役割をユーザー/グループにマップ] 画面で、[ロール] の下にある [`lwpUser`] チェックボックスにチェックマークを付けて、[次へ] をクリックします。
11. [ステップ 6: 要約] 画面で、[完了] をクリックします。
12. 結果表示画面で「アプリケーション `LWP_Designer_Runtime` は正常にインストールされました。」というメッセージが表示されたら、[マスター構成に保管] をクリックします。
13. [マスター構成に保管] 画面で、[保存] ボタンをクリックします。これにより WebSphere 管理コンソールのホームページに戻ります。
14. `LWP_Designer_Runtime` が展開されていることを確認します。 [アプリケーション] → [エンタープライズ・アプリケーション] をクリックし、アプリケーションのリストから [`LWP_Designer_Runtime`] を見つけます。アプリケーションがまだ開始されていない場合は、[`LWP_Designer_Runtime`] の横にあるボックスにチェックマークを付けて、ページの最上部にある [開始] をクリックし、設定を保存して WebSphere Application Server 管理コンソールからログアウトします。

ヒント: インストールのエラーのトラブルシューティングを行うときは、

`workplace_server_root/log` ディレクトリにある `lwpinstalllog.txt` を参照してください。 `workplace_server_root` は Workplace Server のディレクトリです。

#### 関連タスク

10 ページの『IBM Workplace Designer の EAR ファイルをアンインストールする』

4 ページの『IBM Workplace Designer ランタイムをインストールする』

---

## IBM Workplace Designer ツールをインストールする

IBM Workplace Designer ツールを、Workplace Services Express 2.5、 2.5.1、または 2.6 サーバー環境のクライアントコンピュータにインストールする必要があります。また、ツールを単独でインストールし、コンポーネントを作成して、その後にサーバーに接続してコンポーネントをデプロイすることもできます。

ツールは、Web または CD からインストールできます。Web からインストールする場合、以下のステップでは、C89MKML.exe (Microsoft Windows プラットフォームの場合) または C89MIML.tar (Linux のプラットフォームの場合) が一時ディレクトリにダウンロードされていると仮定します。ツールをインストールするには、以下のステップを実行します。

1. 次のアクションの 1 つを実行します。
  - Web からダウンロードしたファイルからインストールする場合は、インストールディレクトリ (例: C:\WD26) を作成し、そのディレクトリに C89MKML.exe または C89MIML.tar を抽出します。Linux プラットフォームでは、コマンドラインで `tar xvf C89MIML.tar` を入力して TAR ファイルを抽出します。
  - CD からインストールする場合は、**IBM Workplace Designer ツール v2.6 Multiplatform Multilingual CD** をコンピュータに挿入します。
2. `\Wmc.Designer` ディレクトリに移動し、EXE または TAR ファイルを抽出した CD またはディレクトリで、`run setup_wct_platform.exe` (Microsoft Windows の場合) または `setup_wct_platform.bin` (Linux の場合) を実行してインストールプログラムを開始します。
3. **[IBM Workplace Managed Client へようこそ]** ダイアログボックスで **[次へ]** をクリックします。
4. 使用許諾契約書ダイアログボックスで **[使用許諾契約書に記載された条件に同意します]** にチェックをつけた後、**[次へ]** をクリックします。
5. **[次へ]** をクリックして、表示されているデフォルトのディレクトリにインストールします。またはディレクトリを指定して **[次へ]** をクリックします。

注: Workplace Designer がすでにインストールされている場合、今回のインストールには別のディレクトリを指定してください。

6. **[要約]** ダイアログボックスで情報を確認した後、**[次へ]** をクリックします。
7. **[成功]** ダイアログボックスで **[次へ]** をクリックします。
8. セットアップが完了したら **[完了]** をクリックします。

Workplace Designer のアイコンがデスクトップに表示され、ツールが開きます。

### 関連タスク

4 ページの『IBM Workplace Designer ランタイムをインストールする』

11 ページの『IBM Workplace Designer 2.6 にアップグレードする』

11 ページの『IBM Workplace Designer ツールをアンインストールする』

## IBM Workplace Designer をアンインストールする

次のいずれかを実行します。

- IBM Workplace Designer Runtime を IBM Workplace Services Express サーバーからアンインストールします。
- IBM Workplace Designer EAR ファイルを、 i5/OS コンピューター上の IBM Workplace Services Express 2.5 および 2.5.1 サーバーからアンインストールします。
- IBM Workplace Designer ツールを、 IBM Workplace Services Express サーバー環境のクライアントコンピューターからアンインストールします。

## IBM Workplace Designer ランタイムをアンインストールする

IBM Workplace Designer 2.6 ランタイムを IBM Workplace Services Express サーバーからアンインストールするには、以下のステップを実行します。

オペレーティングシステム	ステップ
Microsoft Windows	[スタート] → [設定] → [コントロール パネル] → [アプリケーションの追加と削除] をクリックし、[IBM Workplace Designer 2.6 ランタイム] を選択して [削除] をクリックします。
Linux、IBM AIX、Sun Solaris	<code>workplace_designer_root</code> ディレクトリにナビゲートします。 <code>workplace_designer_root</code> は Workplace Designer のインストールディレクトリ (例: /WD26) です。次に、 <code>uninstaller.bin</code> を実行します。

オペレーティングシステム	ステップ
IBM i5/OS	<ol style="list-style-type: none"> <li>ランタイムをインストールしたディレクトリを削除します。QShell セッションが実行されている (i5/OS のコマンドラインで QSH と入力し、QShell インタープリタを開始した) 場合は、<code>rm -rf workplace_designer_root</code> を入力します。 <code>workplace_designer_root</code> は Workplace Designer のインストールディレクトリ (例: /WD26) です。 <b>注:</b> <code>rm -rf</code> を実行すると、削除の確認を求めるプロンプトが表示されることもなく、Designer のインストールディレクトリを含むすべてのディレクトリが強制的に削除されます。Designer ランタイムを削除するときは必ず正しいディレクトリを入力してください。</li> <li>IBM Workplace Designer 2.6 の EAR ファイルをアンインストールします。詳しくは、トピック『IBM Workplace Designer の EAR ファイルをアンインストールする』を参照してください。</li> </ol>

#### 関連タスク

- 4 ページの『IBM Workplace Designer ランタイムをインストールする』
- 『IBM Workplace Designer の EAR ファイルをアンインストールする』

## IBM Workplace Designer の EAR ファイルをアンインストールする

IBM Workplace Services Express 2.5 または 2.5.1 サーバーが IBM i5/OS にインストールされている場合に、以下のステップを実行します。

- `http://yourWASServer:admin_port/admin` で IBM WebSphere Application Server 管理コンソールを開きます。 `yourWASServer` は、WebSphere Application Server の完全修飾の DNS 名です。 `admin_port` は、WebSphere 管理コンソールに割り当てられたポートです。たとえば、`http://acme.server.com:9091/admin` のようになります。管理者でログインしてください。
- [アプリケーション] → [エンタープライズ・アプリケーション] をクリックします。
- [LWP Designer ランタイム] の横にあるボックスにチェックマークを付けて、ページの最上部にある [停止] をクリックします。
- 成功メッセージがページの最上部に表示され、赤い X 印が [LWP\_Designer\_Runtime] の横に表示されたことを確かめて、**LWP\_Designer\_Runtime** が停止したことを確認します。
- [LWP\_Designer\_Runtime] の横にあるボックスをクリックし、ページの最上部にある [アンインストール] をクリックします。

6. 成功メッセージがページの最上部に表示され、[LWP\_Designer\_Runtime] がアプリケーションのリストに表示されなくなったことを確かめて、**LWP\_Designer\_Runtime** がアンインストールされたことを確認します。
7. 設定を保存し、WebSphere Application Server 管理コンソールからログアウトします。

#### 関連タスク

6 ページの『IBM Workplace Designer の EAR ファイルをインストールする』

## IBM Workplace Designer ツールをアンインストールする

IBM Workplace Designer 2.6 ツールをスタンドアロン環境または IBM Workplace Services Express サーバー環境からアンインストールするには、以下のステップを実行します。

1. 次のアクションの 1 つを実行します。
  - Microsoft Windows の場合は、[スタート] → [設定] → [コントロール パネル] → [アプリケーションの追加と削除] をクリックし、[IBM Workplace Managed Client] を選択して [変更と削除] をクリックします。
  - Linux の場合は、*workplace\_designer\_root/\_uninst* ディレクトリにナビゲートします。*workplace\_designer\_root* は Workplace Designer のインストールディレクトリ (例: /WD26) です。次に、*uninstaller.bin* を実行します。
2. [IBM Workplace Managed Client へようこそ] ダイアログボックスで [次へ] をクリックします。
3. 既存のデータ、文書、設定を保存する場合は [次へ] をクリックします。すべてを削除する場合は [はい] を選択して [次へ] をクリックします。
4. Workplace Designer が正しいディレクトリからアンインストールされることを確認して、[次へ] をクリックします。
5. [要約] ダイアログボックスで情報を確認した後、[次へ] をクリックします。
6. コンピュータを再起動する場合は [次へ] をクリックします。または [いいえ、後でコンピュータを再起動します] を選択します。次に、[完了] をクリックします。

#### 関連タスク

8 ページの『IBM Workplace Designer ツールをインストールする』

---

## IBM Workplace Designer 2.6 にアップグレードする

以前に IBM Workplace Designer 2.5 を IBM Workplace Collaboration Services 2.5.1 または IBM Workplace Services Express 2.5 環境にインストールしたことがある場合は、以下のステップを実行して、その環境で IBM Workplace Designer 2.6 にアップグレードします。

1. サーバーコンピュータで、IBM Workplace > アプリケーションサーバーが実行されるサーバー (データベースサーバーやアプリケーションサーバーが実行されるサーバー (データベースサーバーや IBM WebSphere Portal サーバーなど) をすべて停止します。詳しくは、<http://www.ibm.com/developerworks/workplace/documentation> にある IBM Workplace Collaboration Services 2.5.1 インフォメーションセンター、および

<http://www.lotus.com/products/product5.nsf/wdocs/productdoc#info> にある IBM Workplace Services Express 2.5 インフォメーションセンターを参照してください。

2. サーバーコンピュータで、IBM Workplace Designer 2.5 ランタイムを IBM Workplace Designer 2.6 ランタイムに上書きインストールします。ファイルを上書きするかどうかを尋ねられたら、**[はい]** をクリックします。
3. サーバーコンピュータで、IBM Workplace アプリケーションサーバーが実行されるサーバー (データベースサーバーや IBM WebSphere Portal サーバーなど) をすべて開始します。詳しくは、  
<http://www.ibm.com/developerworks/workplace/documentation> にある IBM Workplace Collaboration Services 2.5.1 インフォメーションセンター、および <http://www.lotus.com/products/product5.nsf/wdocs/productdoc#info> にある IBM Workplace Services Express 2.5 インフォメーションセンターを参照してください。
4. IBM WebSphere Application Server 管理コンソールを調べて、IBM Workplace の EAR ファイルがインストールされていることを確認します。詳しくは、トピック 4 ページの『IBM Workplace Designer ランタイムをインストールする』を参照してください。
5. クライアントコンピュータで、Workplace Designer 2.5 のコンポーネントとプリファレンスをエクスポートします。エクスポート方法については、IBM Workplace Designer 2.5 のヘルプを参照してください。
6. クライアントコンピュータで、以下のいずれかを実行して Workplace Designer 2.5 ツールをアンインストールします。
  - Microsoft Windows の場合は、**[スタート]** → **[設定]** → **[コントロール パネル]** → **[アプリケーションの追加と削除]** をクリックし、**[IBM Workplace リッチクライアント]** を選択して **[削除]** をクリックします。
  - Linux の場合は、`workplace_designer_root/uninst` ディレクトリにナビゲートします。`workplace_designer_root` は Workplace Designer のインストールディレクトリ (例: `/WD26`) です。次に、`uninstaller.bin` を実行します。
7. クライアントコンピュータで、Workplace Designer 2.6 ツールをインストールします。
8. クライアントコンピュータで、Workplace Designer 2.5 のコンポーネントとプリファレンスをインポートします。インポート方法については、IBM Workplace Designer 2.6 のヘルプを参照してください。

#### 関連タスク

4 ページの『IBM Workplace Designer ランタイムをインストールする』

8 ページの『IBM Workplace Designer ツールをインストールする』

---

## 付録. 特記事項

本書は米国 IBM が提供する製品およびサービスについて作成したものです。

本書に記載の製品、サービス、または機能が日本においては提供されていない場合があります。日本で利用可能な製品、サービス、および機能については、日本 IBM の営業担当員にお尋ねください。本書で IBM 製品、プログラム、またはサービスに言及していても、その IBM 製品、プログラム、またはサービスのみが使用可能であることを意味するものではありません。これらに代えて、IBM の知的所有権を侵害することのない、機能的に同等の製品、プログラム、またはサービスを使用することができます。ただし、IBM 以外の製品とプログラムの操作またはサービスの評価および検証は、お客様の責任で行っていただきます。

IBM は、本書に記載されている内容に関して特許権 (特許出願中のものを含む) を保有している場合があります。本書の提供は、お客様にこれらの特許権について実施権を許諾することを意味するものではありません。実施権についてのお問い合わせは、書面にて下記宛先にお送りください。

〒106-0032  
東京都港区六本木 3-2-31  
IBM World Trade Asia Corporation  
Licensing

以下の保証は、国または地域の法律に沿わない場合は、適用されません。IBM およびその直接または間接の子会社は、本書を特定物として現存するままの状態を提供し、商品性の保証、特定目的適合性の保証および法律上の瑕疵担保責任を含むすべての明示もしくは黙示の保証責任を負わないものとします。国または地域によっては、法律の強行規定により、保証責任の制限が禁じられる場合、強行規定の制限を受けるものとします。

この情報には、技術的に不適切な記述や誤植を含む場合があります。本書は定期的に見直され、必要な変更は本書の次版に組み込まれます。IBM は予告なしに、随時、この文書に記載されている製品またはプログラムに対して、改良または変更を行うことがあります。

本書において IBM 以外の Web サイトに言及している場合がありますが、便宜のため記載しただけであり、決してそれらの Web サイトを推奨するものではありません。それらの Web サイトにある資料は、この IBM 製品の資料の一部ではありません。それらの Web サイトは、お客様の責任でご使用ください。

IBM は、お客様が提供するいかなる情報も、お客様に対してなんら義務も負うことのない、自ら適切と信ずる方法で、使用もしくは配布することができるものとします。

本プログラムのライセンス保持者で、(i) 独自に作成したプログラムとその他のプログラム (本プログラムを含む) との間での情報交換、および (ii) 交換された情報の相互利用を可能にすることを目的として、本プログラムに関する情報を必要とする方は、下記に連絡してください。

IBM Corporation  
Office 4360  
One Rogers Street  
Cambridge, MA 02142  
U.S.A.

本プログラムに関する上記の情報は、適切な使用条件の下で使用することができませんが、有償の場合もあります。

本書で説明されているライセンス・プログラムまたはその他のライセンス資料は、IBM 所定のプログラム契約の契約条項、IBM プログラムのご使用条件、またはそれと同等の条項に基づいて、IBM より提供されます。

IBM 以外の製品に関する情報は、その製品の供給者、出版物、もしくはその他の公に利用可能なソースから入手したものです。IBM は、それらの製品のテストは行っておりません。したがって、他社製品に関する実行性、互換性、またはその他の要求については確認できません。IBM 以外の製品の性能に関する質問は、それらの製品の供給者をお願いします。

---

## 商標

以下は、IBM Corporation の商標です。

AIX  
Cloudscape  
i5/OS  
IBM  
WebSphere  
Workplace  
Workplace Managed Client

Intel および Pentium は、Intel Corporation の米国およびその他の国における商標です。

Microsoft および Windows は、Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標です。

Linux は、Linus Torvalds の米国およびその他の国における商標です。

他の会社名、製品名およびサービス名等はそれぞれ各社の商標です。





プログラム番号: 5724-L64

Printed in Japan

GB88-8704-01



日本アイ・ビー・エム株式会社  
〒106-8711 東京都港区六本木3-2-12